



たんぽぽ

かわさき生活クラブ生活協同組合理事会
発行責任・佐野めぐみ
編集責任・機関紙編集委員会
問合せ:kawasaki.seikatsu.club@gmail.com

STOP! 地球過熱化

今わたしたちに できる事をはじめよう!



CONTENTS

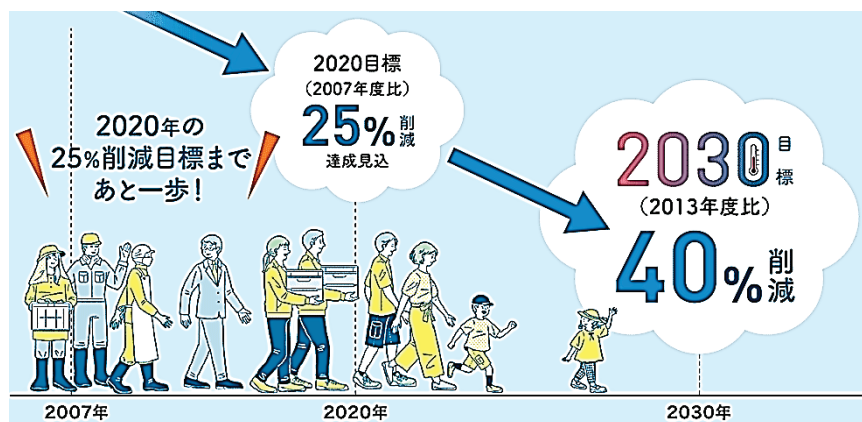
- 1-3. 特集 STOP! 地球過熱化
～今わたしたちにできる事
をはじめよう～
- 2. かわさきを元気にする仲間
たち
- 4-6. 総代会ダイジェスト
- 7.8 理事コラム
インフォメーション

私たちは地球を温暖化する **CO₂** の排出量を削減します

地球温暖化は世界全体で取り組まなければいけない課題です。

生活クラブでは消費材の生産から流通、消費、廃棄に至るすべての過程で排出する温室効果ガスについて「2050年のCO₂排出総量を限りなくゼロにすることをめざして、2030年のCO₂排出総量40%削減（2013年度対比）を目標とする。」ことを決め、対策をすすめています。

未来の世代の目は、
あなたたち(大人)に
向けられています!



昨年の国連の温暖化対策サミットで、各国の代表に早急な対策を求めた、スウェーデンの16歳の環境活動家、グレタ・トゥーンベリさん。もう一つのノーベル賞とも称される「ライブライブライフ賞※」を受賞しました。生活クラブも1989年に受賞しています。



※「現在直面している緊急の問題に対し実践的な優れた回答を示した者」に授与する国際的な名誉ある賞です。

たった1℃でこんなに変わる 地球温暖化の影響

大規模な自然災害

豪雨や台風の強大化による土砂災害や水害の増加など。

海面水位の上昇

海抜の低い島国では高潮の被害がでています。

海水温の上昇

サンゴ礁の白化や死滅、漁業に影響がでています。



世界の平均気温は1750年頃(産業革命前)と比較し、約1℃上昇しています。2015年に国連で採択されたSDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))では、「気候変動に具体的な対策を」打つことを求め、全世界で取り組みが進められています。

食料危機

高温による農作物の品質低下や収量減少など。

感染症の拡大

蚊を媒介とする感染症などが拡大。



2018年度は生活クラブグループ全体で計1万663t(543万㎡)東京ドーム4.4個分のCO₂を削減しました。内訳はグリーンシステム(びんのリユース等)で2,502t、グループ全体の生協事業(2007年度比)で2,844t、創エネルギー(太陽光や風力で発電して買電)で5,317tです。

グリーンシステムとSDGsの目標



①グリーンシステム

25年前に取組みを開始した「グリーンシステム」は、容器包装を回収し、再使用、リサイクルするシステムです。2018年、長年の実績が評価され「第6回 環境省グッドライフアワード環境大臣賞」を受賞しました。2018年度のRびんの平均回収率は71.3%、4,313tのゴミを削減しました。



- リユースびん(リユース)
Rマークの付いたビン。汚れは優しく洗って乾かして。キャップは無理に取らなくてもOK!
- 牛乳キャップ・サイドスコア
洗って乾かします。ピッキング袋と混ぜないで! 消費材の「キャップ再生ゴミ袋」にリサイクルされます。
- ピッキング袋・カタログ袋(配達のみ)
名前等の紙ラベルは切り取り、異物が入らないように底の部分の部分を切ります。カタログのフィルムは開きます。切り落とした部分でしぼるなど、風に飛ばされないように出します。

②カタログ類

毎週の配達時に回収します。(デポーでは回収しません)自治体の回収より質の高いリサイクルに取り組みます。

- カタログ・チラシは2つ折りにし、注文書や申込書は上に置くなど、解かるように置いてください。
- 個人情報の入ったもの、生活クラブ以外のチラシ類は回収しません。



③廃食油回収

かわさき生活クラブでは、かわさきかえるプロジェクト、川崎市民石けんプラントとともに、使用済みの食用油(廃食油)を回収し、リサイクルせっけん「きなりっこ」や「BDF」(バイオディーゼル燃料)を製造する地域内資源循環をすすめています。BDFは配送トラックにも使われています。

2019年度、川崎市内の小学校の給食、組合員、地域で回収した廃食油は10,260.9ℓ。CO₂を約28トン削減しました。

- デポー組合員はデポーで回収します。
- コモンズの方は、配達時に回収します。500mlのペットボトルに入れ、コモンズ名・名前を明記してください。(配達での回収は登録制です。)
- エコナ、ヘルシーリセットなどの調整油はせっけん製造の原料にならないため回収できません。



廃食油移し替え作業
お手伝い募集

かわさきを元気にする仲間たち

03 あさお東コモンズ 茨木 泉さん



あさお東コモンズ運営委員会

8コモンズ・3デポー 運営委員長による活動紹介!

生活クラブは親の世代から加入しており、子供の頃から消費材で育ってきました。結婚してから自分で買い物をするようになり、結局たどり着いたのは生活クラブでした。

子供が産まれてからはイベントに参加するようになり、生活クラブについて話せる仲間がいる事が嬉しく、活動が楽しくなりました。委員活動では消費材や環境などについて深く学べる場や、会議に参加すると発見! 納得! がたくさんあります。

子供2人と一緒に、生活クラブを皆さんにもっと知ってもらいたいと思い活動しています。一緒に楽しみながら委員活動に参加してくれる仲間も募集中です。

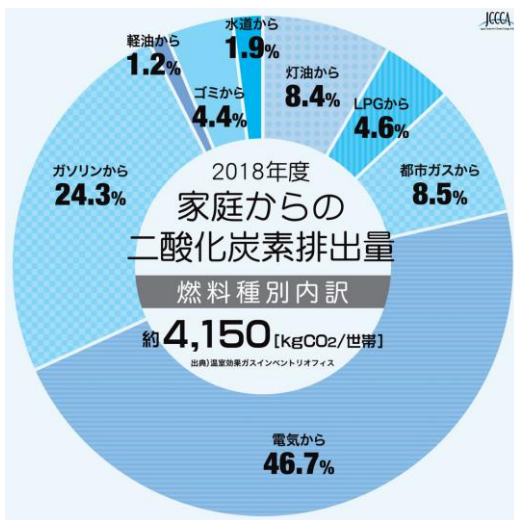
生活クラブでは地球温暖化を抑制し、人と自然が共生する原発のない社会をめざして、エネルギーを「減らす」(省エネをすすめるエネルギーの使用を減らす)、「つくる」(自然エネルギーをつくる)、「使う」(自然エネルギーを選択して使う)を柱とするエネルギー政策を推進しています。

生活クラブでんきとSDGsの目標



電源について考えよう!

家庭から排出されるCO₂の46.7%は電気によるものです。国内の全発電量の78.3%が化石燃料で発電していますが、再生可能エネルギーによる電気を選ぶことでCO₂排出を減らすことができます。



生活クラブでんきは6割以上が自然エネルギー



●生活クラブ風車「夢風」

2012年、生活クラブ神奈川、東京、千葉、埼玉で連帯して、秋田県にかほ市に建設。年間473万kWh(1,300世帯分)を発電します。

地元の生産者と組合員でオリジナル消費材(夢風ブランド)を共同開発するなど、地域との交流を通じ、地域活性化にもつながり、地元の人にとっても「顔の見える風車」となっています。

●庄内・遊佐太陽光発電所

2019年、30年近く利用されていなかった砕石工場の跡地に建設。山形県の庄内地域と生活クラブは、米や豚肉、農産物などの食の提携を50年にわたり続けてきました。

年間約18,000MWhを発電します。これは一般家庭の年間電気消費量の約5,700世帯分の電力となります。これにより、年間約9,200tのCO₂を削減できます。

産地や生産者の思いが伝わる電気を選べるっていいね!



ホームページがリニューアルしました
<https://scenergy.co.jp/>
 ☎0120-112-075

🎁 今なら生活クラブでんきにご契約された方全員に

ソーラーLEDキーホルダープレゼント!

📅 キャンペーン期間 2020年6月1日(月)~9月6日(日)

おうちで オンラインで参加しよう!



<https://seikatsuclub.coop/sustainablefes/>
 SNSで『サステイナブルな暮らし』を投稿して参加しましょう! 見るだけでも楽しいよ!

サステイナブル フェス! は全国の生活クラブ生協で行われる、「サステイナブルな暮らし」のための身近なヒントを見つける参加型フェスティバルです。

こんな写真、投稿してね!

生活クラブや消費材のことが好き! を発信しませんか? 「テレワークを始めて、この消費材で助かっています!」「買い物に出るのは不安、毎週配達が出て助かる!」「デポーは不特定多数の出入りないから安心!」など、指定の#を付けて投稿して下さい。

#生活クラブ
 #サステイナブルフェス
 #かわさき生活クラブ



第17回 かわさき生活クラブ生協通常総代会 開催報告

【審議事項】第1号議案 2019年度 活動報告の承認 第2号議案 2019年度 事業報告書および決算関係書類の承認 2019年度 監査報告
 第3号議案 2020年度 活動方針及び事業計画の決定 第4号議案 2020年度 予算の決定 第5号議案 役員報酬限度額の決定
 第6号議案 規約の改定 第7号議案 長期未利用組合員の除名 第8号議案 役員選挙 第9号議案 第17回通常総代会特別アピール

かわさき生活クラブ生活協同組合第17回通常総代会を6月2日(火)高津センターにて開催し、総代総数200人中198名(参加7名、書面191名)が出席し、すべての議案は承認されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、設立以来初めての書面議決を取り入れた開催となりました。

2019年度 活動・事業報告

「人とのつながりで、持続可能な暮らしやすい地域社会(FEC+W 自給圏)をつくり・ひろげる」を基本テーマに、生活クラブ組合員・W.Co.職員・運動グループが連携し、生活クラブ運動・仲間づくりをすすめました。

活動総括

おおぜいの組合員と共にFEC+W自給圏づくりに向けた活動を行いました。私たち組合員が活動をすすめていることで、生活クラブ運動はひろがっています。オリエンテーションをはじめとした共有活動や学習会、豚肉アクションチーム活動や各委員会などの場を通して、新たな語り部となる、生活クラブ運動を推進する組合員リーダーの共有に力を入れた1年でした。

多くの組合員が学び、学んだことを語りひろげていく活動をすることで、未来を担う子どもたちが希望をもち、安心して暮らせる持続可能な社会をめざして、生活クラブ運動をすすめました。徐々に参加を増やして活動する元気な組織が増えています。昨年より世界中に感染がひろがる新型コロナウイルス感染症の影響により、来年度の活動につなげる年度末の活動計画は思うように行うことが出来ませんでした。書面会議やWeb会議等を取り入れ、活動が全くなならないように工夫しました。

重点政策:デポールRetライ活動、市民政策提案活動、「農」あるまちづくり活動、生活クラブ麻生の活動

共同購入活動総括

学べば語りたくなる活動をひろげることで、共同購入への理解・参加につなげました。各組織では、それぞれ関心のある消費材を通して、共同購入をよびかけました。

活動参加・利用結集を呼びかける年間テーマ消費材を豚肉とし、大いに活用できました。豚肉の価値や提携の歴史を学んでそれを語る豚肉アクションチームの活動も活発に展開し、組織の活動参加にもつながる成果がありました。地場野菜生産者と連携し「体験型農園」をスタート、新しい参加がありました。今後の活動につなげていくことが課題です。

エネルギー・環境の自給圏づくりとして、生活クラブでんき、せっけんの共同購入を呼びかけました。せっけんマイスター講座を継続し、せっけんに関心のある人・使いたい人が増えてき

ました。今後、継続的な利用や利用者からの発信につなげていきます。

組織活動総括

持続可能な暮らしやすい地域づくりをめざし、春のオリエンテーションを通じて、何故活動するのかをみんなで考えました。上期は在高確認対面集会、下期はクリスマス・正月試食会を山場として、互いに学びあい気づいて発信する「学べば語りたくなる活動」をすすめました。

共有活動: 共有の企画は、各組織の活動に活かせるように年間計画を立て、目的と対象を明確にして実施しました。各講座への参加は増えており、共有活動の必要性についての認識が高まっていると考えられます。共有講座は春を中心に、秋は2020年度の組織づくりを見据えた人づくりを強めました。

広報活動: サステイナブル フェス！を活用したInstagram、年6回の機関紙「たんぼぼ」など、理事会からのメッセージを発信しました。

消費委員会: コモンズ・デポール消費委員会「学べば語りたくなる活動」を展開できるように、学習活動を強め、計画的に学習を行いました。ビジョンフード、特に米・豚肉・牛肉に重点を置き活動しました。新規加入者フォロー活動の重要性を理解し、各組織で工夫して活動できています。新たな参加もあり、やりがいのある活動になってきていますが、会えない組合員への対応は課題となっています。

共済たすけあい委員会: 生活クラブの仕組みを使った「おたがいさまのたすけあい」と「知れば(わかれば)使いたくなる活動」への理解と共感をひろげる活動をすすめました。たすけあいのしくみの3本柱(エコロ共済・経済共済・福祉たすけあい基金)をテーマに学習会や企画を開催し、参加した組合員の理解が深まりました。エコロプラスは組織で直接話す丁寧な活動を行い、賛同者を増やせた組織もありました。

環境平和委員会: せっけん・エネルギー・平和の3つを活動の柱とし、それぞれにチームを作って環境平和活動への共感を高めてきました。

環境平和委員会の企画をチーム発案で行うなど、チームの連携が強まりました。地域で活動する団体とも連携して活動し、活動の豊富化につながりました。

年末実行委員会: おおぜいの組合員が年末予約共同購入運動を理解し、消費材への理解を高め、クリスマス・お正月用品を予約することをめざしました。新たな担い手を増やすことも目標に、早期の年末実行委員会形成のよびかけを重点に行いました。多くの組織で年末実行委員会の活動が契機となり、運営委員会、各専門委員会の形成につながりました。

ふれあい広場推進会議: 高津センターを拠点に子育て中の親子がふれあい、情報を共有しながら共に楽しく安全に過ごせる居場所づくりを考え、活動をすすめました。

生活リハビリクラブ幸運堂会議: 「つながる・ひろがる・かがやく 生活リハビリクラブ幸」をテーマに、誰もが集えるまちづくりについて活発な討議を行い、活動をすすめました。

生活リハビリクラブ麻生運営会議: 「みんなで楽しむ！ひろげよう！生活リハビリクラブ麻生の輪！」をテーマに、地域に必要な拠点として、組合員とワーカーズ、地域に暮らす人々がともに参加型福祉をひろげてきました。

戸手生活館運営会議: 地域のニーズや課題について討議検討し、広報活動、多世代の集まる拠点づくりをすすめました。

地域経営協議会: 連携強化、相互理解をつくり、FEC+W自給圏づくりをともにすすめました。

生活クラブ運動グループ地域活動連携協議会かわさき: 様々な人のつながり、おたがいさまが息づく誰もが暮らしやすい地域社会づくり、「居場所・たまり場」の創設に向け、活動しました。

生活クラブ運動グループ コミュニティオペティマム福祉マネージメントユニット会議: 川崎北、高津・宮前、川崎南部の各ユニットで、地域課題の解決策を討議し、活動しました。

平和と生活のつどい実行委員会: 「平和と非平和について考える」をテーマに、第34回平和と生活のつどいを開催しました。

■拡大実績(2019年4月～2020年3月)

	組合員数			期首伸張率(%)	計画達成率(%)	
	期首	加入-脱退	期末		加入	拡大
班個配	8,151	166	8,282	102.0	87.2	50.3
デポール	3,737	100	3,737	102.7	101.8	133.3
合計	11,888	266	12,112	102.2	91.3	65.7

■供給実績(2019年4月～2020年3月)

	供給高(万円)	計画比(%)	前年比(%)	世帯当利用高(円)	計画比(%)	前年比(%)
班個配	244,369	96.9	99.8	25,263	101.1	98.5
デポール	77,393	99.7	106.2	16,373	97.7	97.9
合計	321,762	97.6	101.3	22,466	100.4	98.5

■剰余金処分案

I. 当期末処分剰余金	57,129,235 円
II. 当期処分額	
1. 法定準備金	2,100,000 円
III. 次期繰越金	55,029,235 円
1. 法定準備金は、生協法第51条の4に基づき、当期剰余金の10分の1以上に相当する210万円を積み立てます。	
2. 次期繰越剰余金には教育事業等繰越金相当分104万円を含みます。	

2020 年度活動方針

活動方針

1. 基本テーマ

地域での人のつながりを豊かにひろげ、誰もが暮らしやすい地域（FEC自給圏）づくりをすすめます

2. 基本方針

- 1) かわさきのまちでFEC自給圏づくり
対話を大切に、人とのつながりを軸に活動をひろげます。私たち（組合員）が個々の思いの発信（食・環境・たすけあい・平和など）から共感をひろげることで運動をすすめていきます。F（食・農）、E（環境・エネルギー）、C（たすけあい・ケア）、W（働く）の自給圏づくりを推進し、地域に新たなコミュニティの創出をめざします。
- 2) 共に運動をひろげる仲間を増やす
気づいた課題を投げかけ、学び合い、気づきをつくりひろげていきます。そうした活動に共感し、共に運動をひろげる仲間を増やします。
- 3) 組織基盤の強化
地域を活性化させる多様な活動を展開していきます。
- 4) 参加型ですすめるまちづくり
地域での持続的な関係性を育み、支え合い、たすけあい、つながりづくりからまちづくりをすすめます。
- 5) 連携の強化
W.CO、生活クラブ運動グループとの連携強化を図り、生活クラブ運動をひろげ、FEC+W自給圏づくりをすすめます。

3. 重点政策

- 1) 遺伝子操作をテーマとした「学べば語りたくなる」活動
昨年10月より表示なしでゲノム編集食品の流通が解禁となりました。生活クラブではゲノム編集食品に反対し、取組まないことを表明しています。私たちは持続可能な生産と消費の取組み、健康で安心して暮らせる地域社会づくりへの共感づくりをすすめていきます。
- 2) 地域に必要な拠点づくり活動
生活クラブ運動への共感をひろげる地域の発信拠点・地域コミュニティの場として、必要な拠点づくりをすすめる、発展をめざしていきます。
(1)人が集う地域拠点として拠点機能を活かしたデポーづくり(2)生活リハビリクラブ麻生の新たな拠点構想(3)生活リハビリクラブ幸の30周年を契機に参加型福祉のまちづくり
- 3) 第4次中期計画策定活動
第3次中期計画（2016年～2020年）5年間を総括し、第4次中期計画（2021年～2025年）の策定にむけた議論を丁寧に行い、地域コミュニティが豊かにひろがる運動と事業の継続と発展をめざします。中期計画策定の活動を通して共育を強め、活動の主体者となる組合員の人材育成を図ります。活動は6月よりスタートし、11月に中間まとめを行います。その中で、気候非常事態について2030年に向けた前半5カ年の行動計画の検討を行います。

事業計画

*第3次中期5か年計画（2016年～2020年）の最終年度となる2020年度は、組合員、W.Co、職員、三協運輸の総合力で5か年計画の事業目標達成をめざします。

1. 基本方針

- 1) かわさき生活クラブの運動と事業の基盤となる組合員拡大、供給マネジメント、経済共済加入推進を事務局の最優先課題として引き続き取組みます。
- 2) 「サステナブル フェス！」を活用し上期の拡大強化をすすめます。また新規加入者の早期利用定着をはかることで、供給高計画を達成させます。
- 3) のぼりとデポー、たかつデポーの存続点検結果を踏まえ、事業自立化にむけた改善計画を策定します。
- 4) のぼりとデポーリニューアルについては存続点検結果を持って再計画とします。
- 5) 事務局の業務効率化をさらにすすめ、経費削減をはかります。また新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をすすめ、組合員に消費材を供給し続けられるよう各事業所へ対応を継続します。
- 6) 次期中期5か年計画策定プロジェクトの中で、2021年～2025年度の事業計画を策定します。

共同購入活動方針

- 1) 「学べば語りたくなる活動」の拡大を継続します。ゲノム編集、遺伝子組み換え等、生活クラブの取組み姿勢につながることを学習を通して、共同購入への共感につなげ、利用集結します。
- 2) ビジョンフードの利用・予約共同購入を中心によびかけ、幅広い消費材の利用集結へつなげます。特に、米の予約を引き続き強化してよびかけます。
- 3) 新規フォローを継続し、消費材の価値を伝え、共同購入への共感をつくります。

組織活動方針

1. 組織運営方針

- 1) コモンズ・デポーの組織基盤を強化します。
- 2) 新規加入者フォローを強化します。
- 3) 顔の見える仲間づくりをすすめます。
- 4) 発信力を強化します。
- 5) 組合員とW.Coとのパートナーシップを強めます。
- 6) まちづくりの活動をすすめます。

2. 共育活動方針

- 1) 年間通して、計画的に共育をすすめます。特に、活動をスタートさせる春は強めます。
- 2) 遺伝子操作アクションチームを理事会主導で行い、共育に活用します。特に新規組合員への共育は丁寧に行います。
- 3) 理事の共育を継続します。
- 4) 学習と交流を通して、W.Coとのパートナーシップへの理解と共感につなげます。

3. 広報活動方針

- 1) かわさき生活クラブ機関紙「たんぼぼ」を年6回発行します。

- 2) 組織の広報活動を推進します。
- 3) SNSを使って、活動をひろく発信していきます。

4. 自主管理・監査活動方針

消費材10原則に基づく自主管理・監査活動を推進します。

5. 専門委員会及びその他の活動方針

1) 消費委員会

- (1) 遺伝子操作をテーマとして「学べば語りたくなる活動」を展開し、共同購入運動の理解を深め、一緒に推進します。
- (2) 共感する仲間を増やし食べ続ける人を増やします。
- (3) 新規加入者に対するフォロー活動を積極的にすすめます。

2) 共済たすけあい委員会

- (1) エコ共済制度への理解と共感を広げ、生活クラブの「たすけあい」への共感につなげます。
- (2) エコプラスの制度、価値を伝え、共感づくりをすすめます。
- (3) 経済共済への共感づくりをすすめ、事務局と連携して、加入者を増やします。特に、生活クラブ独自の「ハグくみ」の優位性をあらためて確認し、「ハグくみ」を継続していくために活動が必要なことへの共感につなげます。
- (4) 福祉たすけあい基金への賛同者をひろげます。
- (5) 参加型福祉の視点で地域づくりを考える機会を持ちます。

3) 環境平和委員会

- (1) 環境負荷を減らす地域づくりに向けて、環境平和活動への共感づくりを活発にします。
- (2) 地域内資源循環のしくみを学び、エネルギー自給について考える人を増やします。
- (3) せっけん運動を推進し、せっけん利用をひろげます。
- (4) 平和な環境を未来に手渡していくことをめざし、平和活動を推進します。
- (5) せっけん・エネルギー・平和のチーム活動として市民政策提案につなげます。

4) その他の活動

- (1) 年末実行委員会
- (2) ふれあい広場推進会議
- (3) 生活リハビリクラブ麻生・幸運堂会議
- (4) 戸手生活館運営会議
- (5) キララ賞推薦活動方針
- (6) 平和と生活のつどい実行委員会
- (7) 監査委員会
- (8) 生活クラブ運動グループコミュニティオフィシャル福祉マネジメントユニット
- (9) センター管理委員会
- (10) 生活クラブ運動グループ地域活動運営協議会かわさき

*その他の活動の方針内容は紙面の都合上、省略しますが、それぞれ方針を持って取り組みます。

なお、議決の本旨に反しない範囲での字句修正は理事会に一任します。

「この問題をどうにかして欲しい」「あんなことができたらいいな」と自分の暮らす地域について思うことは誰にでもあるでしょう。私たち生活クラブの先輩たちは、協同することでよりよく暮らせる地域や社会の実現をめざしてきました。牛乳の共同購入に始まり、安心して預けられる保育園、元気になるデイサービス施設など、20年後、30年後も住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、地域に欲しいものを作り出してきたのです。かわさきには、その運動により創設した2つの生活リハビリクラブがあります。生活リハビリクラブ麻生は、おおぜいの組合員とともに地域の総合福祉拠点をめざし活動をひろげると同時に居場所やカフェとして、地域での交流の機会も増やしています。今年30周年を迎える生活リハビリクラブ幸も、多世代の居場所メロディーココをオープンし、地域の参加型福祉の拠点として活用がひろがっています。

私たちがそのような取組みをすすめる一方で、社会では、孤立化などの課題が深刻さを増しています。かつて子どもはたくさんの大人とともに育ち、見守られてきました。それが時代を経て、人と接しなくても暮らせるようになり、近所付き合いの希薄化が指摘されて久しい昨今、子どもと地域の人々との関わりも減少しています。しかし、子どもは本来、多世代の人々と触れ合うことで異なる価値観や考え方と出会い、そのやりとりの中で社会性を身につけ、地域に住む様々な人間関係の中でこそ人間性豊かに育ちます。地域はそうした関係の宝庫なのです。地域で生まれるのは私たち大人も同様です。相次ぐ自然災害や犯罪の対策として地域のあり方が見直されはじめて今、「自助」「共助」の重要さが再認識されています。高齢者や障がい者も、住み慣れた地域で自立した日常を営むことができるよう、私たちは「SOSに気付ける、たすけて！と気軽に言い合える」関係を誰とでも育んでいける社会をどうすれば築いていくことができるかを考えなければなりません。それは自分の行動を振

り返る好機にもなります。

“地域づくり・まちづくり”に大事なものは、地域での人と人とのつながり、そして地域をよく知ることです。地域での人と人との対話によって、何が必要なのかわかり、たすけあいの活動がひろがり、チームワークや仲間への思いやりを自然と念頭に置きながら活動が続けることができます。それぞれ大それたことをしなくても、直接会って話すことそのものがまちづくりにつながっていくのです。

現在私たちは新型コロナウイルス感染症の脅威の中にいます。地域づくり・まちづくりに重要な「対面・対話」が難しい現状で私達にできることは何でしょうか。「情報を共有し、互いの考えを交換し、たすけあう」ことを対面なしにできる範囲で実践していくためには、ネットの活用や電話、デポフロアでの掲示、配達時のお知らせなど、私たちがこれまで当たり前のように利用してきた道具を見直していく必要があります。発信することも大切ですが、情報を自ら受け取りに行くこともとても大切です。そして、何より互いの立場を考え、発信できない人への思いやりと、誰一人置き去りにしないという気持ちを大事にして、様々な方法でつながり、支え合ひましょう。

長年受け継がれてきた運動をさらにひろげ、未来の自分たちのために、今の私たちにできることから始めましょう。それはその先に生きがいや何かを得ることにつながる人生においても楽しい活動です。めざすのは、多様な人々があるのままを認め合い、たすけあって暮らしていける地域づくりです。

『子どもから大人へのメッセージ まず、おとなが幸せにいてください。おとなが幸せじゃないのに子どもだけ幸せになれません。まず、家庭や学校、地域の中で、おとなが幸せでいてほしいです。子どもはそういう中で、安心して生きることができます。』

H13年に川崎市子ども委員会が発表したメッセージです。

かわさき生活クラブ総代会 主な質疑応答・意見

第3号議案 2020年度方針 3.重点政策 3)第4次中期計画策定活動への質問：気候非常事態について、2020年からの10年間のCO2削減の取り組みが極めて重要とIPCC等の国際機関から指摘されています。2030年に向けた前半5年間の行動計画の検討について、CO₂削減をどのように行動計画に組み込むのか大変興味があり、具体的にどうするか知りたいです。

回答：かわさき生活クラブでは、地域に根差した運動と事業をすすめ、川崎で生活する組合員一人ひとりが安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめています。様々な課題解決に向けて、中・長期的なビジョンを中期5か年計画として策定して、そのうえで毎年の活動方針・

実施計画をたてて活動しています。2020年度は第3次中期5か年計画の最終年度となることから、これまでの5年間の活動総括を行うとともに、次期4次中期5か年計画を策定します。その中で気候危機についての活動計画を検討していきます。地球規模の問題を、組合員が自分事と身近な暮らしの場に引き寄せることで、進めていけるように具体的な活動を組合員と共に考えていきます。

生活クラブ連合会では、6月22日の連合会通常総会にて「第一次 生活クラブ2030行動宣言」を決定しました。生活クラブに関わるすべての人々とともに、宣言を実行していくことを約束しました。かわさき生活クラブでも、宣言の実行策について今後、検討をすすめていきます。

ちょっと一息ませんか？



私のおススメ

消費材

—理事コラム 第2回—

おススメを試した事をきっかけにお気に入りになる事も。

パステライズド牛乳 新生酪農(株)



週2回届く8本の牛乳は家族のお気に入りです。牛乳をそのまま飲むのが好きな次男専用のパステライズド低脂肪牛乳は1Lで価格も控えめ。生乳に近い風味で、超高温殺菌では死滅してしまう免疫グロブリンやラクトフェリンが生き残っているので、偏食の次男には欠かせない栄養源です。子どもたちは一口飲んだだけで、超高温殺菌との違いが分かるようです。大人には味の違いは分からない？そんな事はありません！コーヒー、紅茶に入れると違いは歴然。まろやかでコクがあり、飲み物の風味が生きるので、お気に入りのコーヒー、紅茶でお試し下さい。

自前の牛乳工場、飼料や育て方も分かる、50回繰り返し使えるRびん、回収したキャップ・サイドスコアは消費材の「ゴミ袋」に再生する等もお気に入りのポイント！皆さんも牛乳を飲みましょう。

牛乳キャップとサイドスコアも回収に出しましょう！牛乳キャップ5個でLサイズのゴミ袋1枚の原料に。また再利用により、キャップ1個で11gのCO₂を削減し、自治体のごみ処理費用は0.4円減らせます。



まつした あきこ
松下 彰子
あさ東コモンズ

たんぼぼ INFORMATION

たんぼぼに掲載の企画は、かわさき生活クラブの組合員、または川崎市在住の方が対象です。

エコロ共済学習会

8/27(木) 10:00~12:00

会場：高津センター3階 大会議室

講師：君島周子さん(生活クラブ神奈川 副理事長)

※オンライン併用で開催します

託児あり

エコロ共済って名前は知っているけど…100円は払っているけど…エコロ共済とエコロプラスの違いがわからない…など、素朴な疑問はありますか？加入している組合員でも内容を知らずにいる方は多いです。どなたにでもわかりやすく丁寧にお話しますので、気軽に参加してください。たすけあいの仕組みを学んで、日々の生活の中で活用しましょう。(共済たすけあい委員会)

ガマンしない省エネ講座

8/28(金) 10:00~12:00

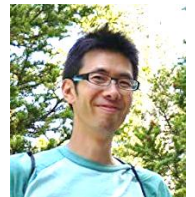
講師：高橋真樹さん(ノンフィクションライター)

※オンライン(ZOOM)で開催します

託児あり

持続可能な未来をテーマに世界70ヶ国、日本全国をめぐり取材、執筆をつづけている高橋さん。映画『おだやかな革命』アドバイザー、『生活と自治』で連載(~2020年6月)。小江戸川越にあるエコハウスとつないで、省エネのコツやガマンしないでできる省エネを学びます。

講師は来ませんが、高津センターで参加する事もできます。この講座は生活クラブの自然エネルギー基金で開催します。(環境平和委員会)



理事会報告

5月▼2019年度監査報告▼討議決定：総代会議案書▼討議：第3次中期計画総括及び第4次中期計画方針討議チャート▼報告承認：出資金在高確認対面集会実施計画の変更とそれに伴う活動計画の見直し、「W.Co」という働き方をひろげるキャンペーン」実施計画、2019年度拠点活用・居場所づくり総括と次年度方針、ユニオン通常総代会の開催について、2020年度W.Co 請負委託契約、三協運輸サービスとの委託契約の改定、2019年度Step Up 点検活動総括、たんぼぼ発行計画、新型コロナ対策 理事会ニュース配布計画▼監事会：コモンズ・デポー中間監査、監査委員会及び監査委員オリエンテーションについて、コモンズ・デポー大会への意見及びガバナンス追跡調査▼報告確認：かわさき通常総代会にむけた最終確認、生活クラブ運動グループ関連の総会出席者の確認、高津センターCO₂監査報告、2020年度キララ賞交流会・推薦活動計画

6月▼討議：新型コロナウィルスの影響踏まえた活動計画の進め方について▼報告承認：監査指摘事項への対応、存続点検デポー決算報告と今後の検討課題、理事会研修計画、住まいの相談学習会の日程変更、2020年度デポー供給高の急激な増加に伴う追加支払い規定、企業組合ワークーズ・コレクティブ・キャリアおよび(株)三協運輸サービスに対する特別委託料の支払いについて、在高確認ハガキ対応に関する費用について、2020年度地域生協・ユニオンの業務提携に伴い発生する費用に関する覚書の締結、地域生協役員傷害保険の更新、定款に基づく常務理事及び理事の代行順序、たんぼぼ発行計画▼報告確認：生活クラブ運動グループ関連の総会出席者の確認

基本報告

	組合員数		世帯当たり 利用高 (5月)
	期首(4月)	5月末	
班	806	804	31,307
個配	7,476	7,637	30,753
デポー	3,830	3,826	17,770
合計	12,112	12,267	—

編集後記

新型コロナ禍の自粛時間を活用して、断捨離ができスッキリした。さて、コロナ後はどんな生活になるのか、こわいようで楽しみ?! (T)

Kスタイル「みんなにプラスになる講座」

9/24(木) 10:00~13:00 参加費：200円

会場：高津センター3階 大会議室

託児あり

講師：森芳京子さん(生活クラブ神奈川)

暮らしの中で組合員同士のたすけあいが活きている事例や、エコロプラスの制度のこともわかりやすくお話しします。「自分にもできることがあるんだ!」「手助けしてもらえるのね♡」などプラスになることが見つかるはず。「Kスタイル」のKは健康、組合員、共済、感謝などのたくさんのワードの頭文字です。みんなで参加して、学んで、わかって、交流して、心も体も温かく、美味しく学べる企画です。ランチ交流会あり。(共済たすけあい委員会)

せっけんマイスター講座(全5回)

9/29(火) 講師：長谷川治さん

(洗剤・環境科学研究所代表)

10/13(火)、26(月)、11/6(金)、24(火)

時間：10:00~12:00

託児あり

会場：高津センター大会議室

※オンライン(ZOOM)でも参加できます

参加費：1回200円(既に受講した回の再受講は無料)

せっけんマイスターを養成する全5回の講座です。第1回は、洗うことの本質や巧妙なコマーシャルに隠された合成洗剤の実体、新型コロナ対策の最新情報等も学べます。正しい情報を知って、生活に活かしましょうか?(希望する回のみ受講もできます。)

5回全てを受講した方には、せっけんマイスターに認定し、かわさきかえるプロジェクトの講師としての道も開けます。(環境平和委員会)



どこでも企画に参加できる!
会場へ来られない方でも参加できます!

ZOOMを使うとパソコンやスマートフォンで、講座や学習会などの企画にオンラインで参加できます。無料でダウンロードして使用でき、操作も簡単です。通信料は個々の契約によります。

講師に質問でき、参加者の様子も解かるので、この機会にぜひ、自宅から企画に参加下さい。



オンライン参加を希望する方へ

開催の1週間前までに企名、申込者の所属、氏名、連絡先等を記載してメールで込み下さい。資料、ミーティングID、パスワードを主催者から送付します。

託児ケア利用ルール

- 託児にはエコロ共済の集団託児ケアを利用し、組合員のケア者が見守り託児を行います。(1歳以上)
- 申込みの際は、お子さんの名前・年齢、事故防止のため、アレルギーの有無をお知らせ下さい。
- 当日はおにぎりやパン等の子どもが一人で食べられる軽食(お菓子以外)と飲み物をお持ち下さい。
- 託児ケアはエコロ共済に加入している組合員が利用できます。加入手続きは、問い合わせ先まで。
- 未加入のまま託児ケアを利用する場合は、子ども1名につき1時間600円を当日現金で支払って下さい。

申し込み・問い合わせ

かわさき生活クラブ生協
高津センター

宮前区宮崎2丁目1-1東急田園都市線
「宮崎台」駅徒歩7分 FAX:044-852-0680



情報発信中!



たんぽぽイベント申込票

8/27 エッコロ共済学習会

8/28 ガマンしない省エネ講座

9/24 エッコロプラス講座

せっけんマイスター講座(□9/29、□10/13、□10/26、□11/6、□11/24)

名前 _____ コモンズ/デポー名 _____

☎ _____ Mail _____

託児 有・無 子どもの名前 _____ (歳) アレルギー 有・無

高津センター：かわさき生クラブ理事会事務局行
矢向センター：かわさき生活クラブ担当行

※オンライン参加を希望する方は、メールで申込み下さい。